



にゅーすれたーふじやま・長泉

20周年は船上で。

2010.10

パナソニックエイジフリー介護チェーン

エイジフリー介護チェーンの本体であるパナソニック電工エイジフリーショップス(株)設立10周年を記念し、9月29日東京汐留のコンラッド東京で記念講演会とパーティが開催されました。はじめに池内役員から「1999年大阪高槻市のトップコーポレーションが FC 店第一号としてスタート、今ではショップスの社員430名という大きな組織になりました。松下幸之助は商売は売上を上げるのではなく、社会的意味のある仕事をしてこそ利益を得られると言っています。パナソニックらしさ、技術を生かして新しいものに挑戦する企業。40代の若い松下社長を中心にすべてがお客様に目が向いています。FC 店の英知をいただきながら10年20年30年と一緒に力を合わせて社会貢献しましょう。2011年は電気と電工がひとつになります。今後とも同様にやっていきますのでよろしく願います」と挨拶がありました。

続いて廣岡達朗氏の講演がありました。私の幼かった頃は野球と言えばジャイアンツ。。。。。「王、金田、廣岡」なんて父親、兄弟が言っていたのを聞いていたので、廣岡さんてすごい選手だったんだという印象はありますが、ご講演を拝聴させていただくとかなり暴れん坊だったようです。しかし、彼のお話の中に中村天風氏が出てきました。私も存じ上げなかったので少しネットで調べてみました。松下幸之助氏も師と仰いでいたようです。「今日一日、怒らず、恐れず、悲しまず」と有名な言葉を残していらっやいます。私もこのように生きたいものです。また廣岡氏は“チャンスは逃がさない” “人は教育で育つ”ともおっしゃっていました。良い指導者との出会いがあればチャンスも自ずと訪れるはずで。チャンスを掴んで幸せになるのも自分自身にあると思います。



パーティーではトップコーポレーションの峯垣さんのご挨拶(思い出話)が印象に残っています。現在の松下社長が10年前に店(私もふじやまオープン時に訪問しました)に来られて、ご利用者様の住宅改修を親身になってお手伝いして下さったことを熱く語られました。若き松下社長は「最初の10年は“お役立ちのための投資”これからは恩返しの日です。加盟店さまとも云いたいことを言い合って、10年後はみんなで豪華客船「飛鳥」の上で20周年をお祝いしよう」と更なる一致団結を誓い合いました。心温まる10周年記念パーティーでした。

H.C.R. 東京国際福祉機器展

翌日は東京ビックサイトで開催されている国際福祉機器展を見学しました。最新の福祉機器20000点が16カ国・1地域の492社・団体から出展されました。今回の H.C.R.2010ヴィジュアルデザインの製作意図にこんなことが書いてありました。



「人間の生み出すテクノロジーは今や機能だけが優先される時代は終わり、より人間自身とそれを包含する大自然とのかわりを重視する世紀に入ったと思われます。福祉機器もまた環境に調和しながら、利用者を照らす灯台でありたい。そういう思いからこの絵が選ばれました。」 韓祐志(ポスター担当アートディレクター)・・・ポスターはインターネットでご覧下さい

日本人にノーベル化学賞

10月6日、日本中に嬉しいニュースが流れました。鈴木 章、根岸英一両博士にノーベル化学賞が授与されるのです。受賞理由は簡単にいうと今、注目されている炭素と炭素を結合する糊のような物質を開発し、有機化学の発展に貢献したのだそうです。その夜テレビに映った鈴木さんは非常にラッキーだと述べられました。「誰でも同じように神様はチャンスを与えてくれていると思うが、そのチャンスを掴むか掴まないかは「努力」「注意深さ」「熱心さ」で決まる。研究者は社会に貢献するような研究をしたいといつも思っているが、考えてもできない。。。。できたのは非常にラッキーだ。若い人達には人のやっていない研究をなさいと日頃言っています」と述べられていらっやいました。真摯な姿勢で研究に取り組んで来られた博士に神様はご褒美を与えてくださったんだと感じ、同じ日本人として誇りに思いました。60歳を目前にした私の信条もお役に立つ仕事がしたい、富士市のため静岡県のためと考えながら仕事に取り組んでいます。ちょっとオーバーかもしれませんが。。。。若い人たちにもこんな思いを持ちながら少し心に余裕を持たれて生活して欲しいと願っています。

渡邊啓視